

氷が融けている

海面が上昇している

ハリケーンが発生している

全てあなたの責任です

恐ろしい？

ダメだ

ウソだ

A (Professor Paul Reiter): 私たちは理性の時代にいると思っています。地球温暖化への警鐘は科学を装っていますが、科学ではなくプロパガンダです。

B (Professor Nir Shaviv): 20世紀の地球温暖化と人類が排出した温室効果ガスを関連付ける直接的な証拠はありません。

C (Nigel Calder): 結局、嘘だったということです。

D (Professor Ian Clark): Co2 が気候を変えているとは言えません そんなことは過去に一度もありませんでした。

E (Professor Tim Bal): 温室効果ガスの CO2 が大気中に増加しそれから気温が上昇すると仮定していますが氷床コアの記録で全く逆だとわかりました。つまり、人間が気候を変えているという理論の最も根本的な前提が間違っていると分ったのです。

C (Nigel Calder): つまり全部うさん臭いんです

人為的温暖化説はもはや気候環境だけの理論ではありません。それは、この時代をつかさどるモラルと政治的大義なのです。議論の時は終わったと活動家たちは言います。どれだけ科学的に厳密であろうといかなる批判も非合理的であり危険でさえあるのだと....

しかし、この番組では地球の気候は常に変動しており、現在の気温に何の変哲もないことや人為的か否かに関わらず気候が二酸化炭素により変動するという見解を否定する科学的証拠を紹介しします。

いたる所で、人為的な気候変動は疑いの余地なく証明されていると言われていています。しかし、それは嘘です。

< 1 > タイトル「地球温暖化詐欺」

E (Professor Tim Bal): 地球温暖化を信じないという人々がいますが私は違います。私は地球温暖化は信じていますが、人為的な CO2 が原因だとは思っていません。

B: もし数年前に聞かれたら、私も CO2 が原因だと答えたでしょう。私も一般の皆さんと同じようにメディアに耳を傾けてましたから。

空想的な終末論じみたニュース報道が日々増加しています。もはや政治家は気候変動に疑問を挟んだりしませんが。

F (Lord Lawson of Blaby): 反対意見には非慣用的なんです。

活動家演説「地球上で最悪の気候犯罪者が…」

F (Lord Lawson of Blaby): 政治的には絶対にゆるされないこととは気候変動の正統性を疑うことです

地球温暖化は政治を超えてしまいました。それは一種の新しい倫理観です。

BBC「首相が休暇から戻ってきました。彼は長距離旅行を恥じたり、反省したりしません。」

人為的地球温暖化説への熱狂は激しさを増していますが、多くの気象学者は科学的な論拠は崩壊していると言っています。

B : 例えば、歴史的には二酸化炭素量が現在の3倍から10倍あった時代もありました。もしCO₂が気候に大きな影響を与えるならば、気温復元でわかるはずですよ。

D (Professor Ian Clark): 地質学的な時間概念で気候について考えれば、気候変動の主要原因がCO₂だとは思わないでしょう。

G (Dr Piers Corbyn): ここ数千年間の主な気候変動の中でCO₂で説明できるものはありません

D (Professor Ian Clark): CO₂で気候が変わるとは言えません。そんなことは過去に一度もありませんでした。

H (Professor John Christy): 人間が原因で気候システムに破滅的な変化が起きているとか何千人もの科学者が地球温暖化に一致した意見を持っているとか言われていますが、それを真実だと思っていない科学者は沢山いますし、私もその一人です。

人為的な地球温暖化というのは通常 of 科学的な理論とは違います。

BBC「今朝、気候変動に関する政府間パネル (IPCC) が…」

それは大きな国際組織の承認を得てメディアによって伝えられています。

国際連合 : 気候変動に関する政府間パネル 略して IPCC です。

I (Professor Philip Stott): IPCC は他の国連団体と同じように政治的なものです。最終的な結論は政治的に導かれます。

A (Professor Paul Reiter): IPCC は1500 ~ 2000人の世界的な科学者で構成されていると言っていますが、名簿を見れば分かる通り真実ではありません。科学者以外の方が沢山います。

J (Professor Richard Lindzen): IPCC は人数を2500人まで増やすためにグループレビューや政府関係者などを受け入れ始めました。IPCC は近づいてくる人々に賛同を求めたりしません。多くの方は反対なのです。

A (Professor Paul Reiter): 議論に同意せずに辞めた専門家を沢山知っていますが、執筆者リストに記載されたままです。そしえ2500人の世界的な科学者の一部となっているのです。

J (Professor Richard Lindzen): 反対する科学者がいないのだからあなたも反対すべきでないと言う人々がいますが、そういう場合、科学だと言われますが、ただのプロパガンダです。

この番組で紹介するのはどのような気候に関する理論が政治的イデオロギーになったかという話です。

K (Patrick Moore): 私はもう環境保護運動と呼びたくありません。単なる政治活動家の運動だからです。彼らは世界的な規模で大きな影響力を持つようになりました。

科学全域に渡る歪曲についての話でもあります。

L (Dr Roy Spencer): 気象学者は資金を得るために問題を必要としているのです。

H(Professor John Christy): パニックを作り出すことに常に興味を持っています。気象科学にお金が流れて来ますから。

J (Professor Richard Lindzen): 言うてはならないことがひとつあります。それは、” これは問題ないかもしれない ”

どのように政治的キャンペーンが官僚の宣伝装置になったかという話でもあります。

M (Professor Patrick Michaels): 現在、地球温暖化頼みの仕事は何万とあるのが実情です。

ビッグビジネスです。

I (Professor Philip Stott): それ自体が巨大産業になっています。もし地球温暖化の寄り合い所帯が崩壊したら非常に多くの人が仕事を失い新たな仕事を探すことになるでしょう。

検閲と脅迫についての話でもあります。

C (Nigel Calder): 賛同しそうな人々に対して口角泡飛ばして激昂している人がいるのを見たり聞いたりしてました。科学的なやり方ではありません。

西洋人が気象災害の脅威を煽り発展途上国の工業発展を妨害しているという話でもあります。

N (James Shikwati): 環境議論全体からはっきり分ったことが一つあります。それはアフリカン・ドリームを葬るのに熱心な人がいることです。アフリカン・ドリームとは発展することなのです。

K (Patrick Moore): 環境保護運動は、発展途上国の発展を妨害する最強の勢力と化しています。

地球温暖化の物語はどのようなメディアの恐怖煽動が世代をつかさどる思想になったかという訓話でもあります。

C (Nigel Calder): 地球温暖化ビジネスは宗教じみています。賛同しないと異端者と言われます。私は異端者です。この番組の製作者は全員、異端者です。

(約8分)

< 2 > タイトル「地球温暖化詐欺」

2005年、人為的地球温暖化の科学的な証拠を調査するために上院審査会が設置されました。審査会の中心となったのはブレイベーのローソン卿でした。1980年代の英国財務大臣であり地球温暖化の調査に政府資金を拠出した最初の政治家でした。

F (Lord Lawson of Blaby): 私達は非常に激しい審査を行い、この分野のあらゆる専門家から証拠を集めレポートを作成しました。科学が以下に危く不確実であるかを知り驚きました。思慮深い人々は益々増えています。公の場に出ることを躊躇する人もいますが、控えめに、非公式に、そして公の場でこう発言する人もいます。” ちょっと待った、これでは辻褄があわないよ ”

地球の気候は変化していると言われていています。しかし、地球の気候は常に変化しているのです。地球の長い歴史の中で現在より遥かに暑かったり寒かったり時期は数え切れないほどありました。世界の大部分が熱帯林であったり、氷で覆われていた時期もありました。気候は常に変化してきました。そして私達人間の介入がなくても変化していました。現在の温暖化の傾向は少なくとも200年さかのぼることができます。地球の歴史の中で、非常に寒かった時期の終盤までです。この寒冷期は小氷期と呼ばれています。14世紀にヨーロッパは小氷期に突入しました。

P (Professor Philip Stott): 証拠となるのは古いイラストや絵画、そして父なるテムズ川の絵です。小氷期の最も過酷で激しい冬には、テムズ川は凍り素晴らしい氷上フェアが開かれました。スケートをしたり、人々は氷上で物を売ったりしました。

小氷期をさかのぼってみると穏やかな黄金期があります。現在より気温は高く中世の温暖期と呼ばれています。

I (Professor Philip Stott): 中世のライフスタイルが今と全く違うのは気候によるものだと知ることは重要です。今私達は温暖化が破滅的な結果をもたらすと考えていますが、中世の温暖期で連想するのは” 豊か ” でしょう。

ヨーロッパでは大聖堂建築の黄金期でした。当時の詩人チョーサーによればイングランド北部でさえブドウ園が盛んな時代でした。

I (Professor Philip Stott): ロンドンの街中には中世の温暖期に栄えたブドウ園の名残りが残っています。とても豊かな時代でした。ある意味ではこの小さな教会はその象徴です。豊かな時代の建築物なのです。

さらに時間をさかのぼると中世の温暖期以前にもっと暖かい時期があります。青銅器時代のとても長い期間です。完新世の気候最温暖期と呼ばれています。気温は現在より著しく高く、3千年以上続きま

した。

D (Professor Ian Clark): 8 千年にさかのぼると完新世に入ります。今現在の間氷期よりずっと温暖でした。北極熊は今私達と共に生きていますので、その時代を生き抜いたのは明白です。優れた適応能力があり、過去の温暖期に何の問題もありませんでした。

(1 2 分)

過去の気候変動は明らかに自然現象でした。なぜ私達は現在は違うと考えているのでしょうか？地球温暖化説によればその犯人は工業社会です。近代工業のおかげでかつては金持ちだけが楽しめた贅品を普通の人々がたくさん利用できるようになりました。技術革新により生活はより豊かに、楽になりました。近代的な輸送機関や通信機器により世界の距離は縮まり、より身近になりました。産業の発展で私達の生活は変わりました。しかし、気候も変えたのでしょうか？人為的地球温暖化説によれば、工業発展が気温上昇を引き起こすとしています。そうなのでしょうか？

M (Professor Patrick Michaels): 2 0 世紀の温暖化の原因が CO₂ だと言いつらしている人は基礎的な数字を見ていません。

2 0 世紀初頭、工業生産はまだ ~ 期 (初期) でした。戦争と不景気に阻害されほんの数カ国に限定されていました。第二次世界大戦が終わって一変しました。冷蔵庫、食器洗浄器、テレビ、車といった消費財が国際市場に向けて大量生産され始めました。この地球規模で爆発的に広まった工業活動は戦後好況と呼ばれています。工業史と気温記録を比べてみましょう。1 9 世紀中頃から地球の気温は約 0 . 5 度上昇しました。しかし、この温暖化は車や飛行機が発明されるより遥か以前に始まりました。さらに気温の上昇の大半は比較的工業生産が小規模だった 1 9 4 0 年以前に起こりました。第二次大戦後の戦後好況の期間は理論に従えば気温は上昇するはずですが、ところが気温は下がりました。1 年や 2 年ではなく 4 0 年続きました。しかし逆説的なことに 1 9 7 0 年代に不況が訪れると低下は収まりました。

O (Professor Syun-Ichi Akasofu): 二酸化炭素は 1 9 4 0 年頃急激に増加し始めました。しかし気温は 1 9 4 0 年に下がり始めました。1 9 7 5 年まで低下は続きました。両者は相反した関係なのです。二酸化炭素は急激に増加する一方で気温は低下してゆく。つまり二酸化炭素と気温に関連性があるとは言えません。

E (Professor Tim Ball); 気温は 1 9 4 0 年まで急激に上昇しました。人類の生産活動による CO₂ 排出が比較的少ない時代でした。そして戦後、世界全体の工業と経済が活発になり人類の生産活動による CO₂ は急増しましたが地球の気温は下がっていきました。つまり、理論は事実に合わないのです。

C (Nigel Calder): 第二次大戦後、ちょうど工業が急発展したころ二酸化炭素は増加していましたが、地球は寒冷化していました。そして氷河期の到来に恐怖し始めていました。全くナンセンスでした。今もなおナンセンスですが

なぜ私達は気候変化の原因を CO₂ だと思っているのでしょうか？CO₂ は地球の大気の中に小さな割合しかありません。実際、大気中の二酸化炭素量の変化は 1 0 p p m 単位で測定されています。

E (Professor Tim Ball); 大気中の全ての気体に (酸素・窒素・アルゴンなどですが) 二酸化炭素が占める割合は 0 . 0 5 4 パーセントです。とても小さな割合です。人間が増やしていると思われる割合を考慮に入れなければなりません、それが全ての問題の焦点なわけですがさらに小さな割合なのです。

1 6 分 0 8 秒

二酸化炭素は温室効果ガスですが温室効果ガスは大気中にほんの小さな割合しかありません。さらに言えば、二酸化炭素は比較的マイナーな温室効果ガスです。

1 6 ; 1 8

E (Professor Tim Ball); 大気は様々な気体で構成されていますが温室効果ガスと呼ばれる小さな割合の気体のうち、95%は水蒸気です。これが最も重要な温室効果ガスです。

H (Professor John Christy): 水蒸気は温室効果ガスです。最も重要な温室効果ガスです。

温室効果ガスの増加が温暖化の原因なのか、確かめる方法はあるのでしょうか？たった一つ方法があります。それは空を見上げることです。対流圏と言われる層があります。

J (Professor Richard Lindzen): 温室効果による温暖化ならば、地上から高度 1 1 ~ 1 2 k m の対流圏の中央部が地表より温暖化するはずですが、温室効果の仕組みに関連した論理的な理由があります。

温室効果の仕組みを説明します。太陽が熱を地球に送ります。もし温室効果ガスがなかったら、この太陽光線は宇宙に跳ね戻ってしまい、惑星は冷たくなり住めなくなってしまうでしょう。温室効果ガスは地表から数マイルの対流圏で逃げようとする熱を閉じ込めているのです。気候モデルによると (コンピューターを使ったシミュレーションのこと) もし温室効果ガスが原因であるならば、温暖化の度合いが最も高いのはこの辺りのはずです。

Q (Professor Federick Singer): あらゆる気候モデルで地表から大気中へ上昇するにつれて、温暖化の速度が上がるという結果になってしまいます。最大の温暖化は赤道上の高度約 1 0 k m で起こっているはずですが。

ジョン・クリスティン教授は地球の大気の気温測定に大きな役割を果たしてきました。1991年、卓越した功績により NASA に表彰されました。1996年には気象観測能力を根本的に発展させた功績で、アメリカ気象学会から特別賞を授与されました。国連気候変動に関する政府間パネル (IPCC) の主執筆者です。大気中の気温を測定する方法は2つあります。衛星と気象観測気球です。

H (Professor John Christy): 地球の大気層の大部分では、この地域の地表ほど温暖化していないことがわかりました。全く理解しがたいことでした。理論を簡単に言えば、地表が暖かくなると、その上の大気は急激に暖かくなるというものだからです。対流圏の気温上昇は全く急激ではありません。気候モデルが示す理論とは合わないのです。

M (Professor Patrick Michaels): 気候モデルの厄介な問題点なんですが、(極地を除いてですが) 大気中へと高度が上がるにつれて温暖化率も上がると予測しています。よく話題にのぼる衛星のデータだ

けでなく気象観測気球のデータからもそういった現象が見られないのは明らかです。実際のところ、地表の気温は上空よりわずかに暖かいようです。つまり全然違うんです。

J (Professor Richard Lindzen): こういったデータにより現在の温暖化の原因が温室効果ガスではないとう事実を知る切っ掛けになるでしょう。

Q (Professor Federick Singer): 高度に伴った気温上昇は観測されていないということです。ほとんどの観測では高度があがるにつれて温暖化率は僅かに低下しています。そういう意味では人為的な温暖化という仮説は証拠によって誤りだと証明されたのです。

つまり現在の地球温暖化は別の時代に別の場所で起きたのです。大部分の温暖化は20世紀初頭に起きました。そして大半は地表で起こったのです。人為的地球温暖化説とは全く反対のことが起こったのです。

20 : 33

アルゴア : アル・ゴアです。元次期アメリカ大統領です。

元副大統領アル・ゴアの感動的な映画"不都合な真実" は人為的地球温暖化説のプレゼンテーションとして大好評です。彼の論拠は、氷床コア調査で得られたある重要な証拠に基づいています。氷の奥深くまでドリルで穴を開けて、調査することで何十万年という地球の気候の歴史をさかのぼることができます。最初の氷床コア調査は南極のボストックで行われました。アル・ゴアが指摘しているように二酸化炭素と気温の明確な相関関係が分りました。

アルゴア : 65万年前、時間をさかのぼってみましょう。これが今までの地球の気温です。まず目に飛び込んでくるのは...データは一致していますか? ばかばかしい質問ですね。関連性は実際のところとても複雑ですが何よりも強力な関連性が一つあります。それは二酸化炭素が増えるにつれて気温が上昇するということです。

アル・ゴアが気温と二酸化炭素の関係は複雑だと言いましたが、その複雑性が何なのか言いませんでした。氷床コア・データについて彼はとても重要なことを言いそびれたのです。イアン・クラーク教授は北極の古気候学の第一人者で数千年前の気温記録を調べています。

D (Professor Ian Clark): 私達は気候を大きな尺度で見するために実際に気候を記憶している地質物質を探しています。例えば氷のサンプルを採取し、アイソトープを使って気温を再現します。そして氷の中に閉じ込められた大気を解放し、二酸化炭素容量を調べます。

22 : 26

クラーク教授たちは、アル・ゴアが言っていたように気温と二酸化炭素の関係性を発見しました。しかし、アル・ゴアが言わなかったのは関係性が真逆だということです。

D (Professor Ian Clark): ボストックの氷床コア・データを見てみましょう。赤ラインが気温です。気温が氷河期が終わると終始、短い間隔で上昇して行きます。気温が上昇してから二酸化炭素が上昇する

のが分ります。二酸化炭素が後から遅れて増加します。タイムラグは800年です。つまり800年差で気温は二酸化炭素に先行しているのです。

今まで何度も大規模な氷床コア調査が行われましたが全て同じ結果を示しています。気温が上昇または下降し、その数百年後二酸化炭素が後を追います。

J (Professor Richard Lindzen): 二酸化炭素が温暖化の原因でないのは明らかです。温暖化により二酸化炭素が増加するという事実はありますが、

D (Professor Ian Clark): CO₂ が気温変化を起こすことはありません。CO₂ は気温変化の産物です。気温変化の後に増えるんです。

E (Professor Tim Ball); 氷床コアの記録は問題の核心を突いています。”大気中に温室効果ガスの CO₂ が増加すると気温が上昇する ” と言われていますが、氷床コア記録で全く逆だと分りました。つまり、人為的気候変化説の最も根本的な前提が間違っていると証明されたのです。

しかし、どうして気温が上昇すると大気中の二酸化炭素が増えるのでしょうか？これを理解するにはまず当然のことを言わなければなりません。二酸化炭素は、あらゆる生命が作り出している自然の気体なのです。

C (Nigel Calder): 私にとって何よりも不愉快なのは二酸化炭素を汚染物質のように言う人々の話を聞くことです。あなたも私も二酸化炭素でできています。二酸化炭素とは生命が成長するための手段です。

更に言えば、人間は CO₂ の主要な放出源ではありません。

H (Professor John Christy): 大気中に放出される二酸化炭素のうち人間によるものは一桁台の小さな割合です。

毎年火山は全ての工場、車、飛行機、その他の人為的な CO₂ を合計したより多く放出しています。さらに動物やバクテリアは毎年150ギガトンの CO₂ を放出していますが、人間は6.5ギガトンしか放出していません。さらに大きな CO₂ の発生源は枯れた植物です。例えば、秋の落ち葉などです。しかし、CO₂ の最大の発生源は海です。

カール・ワンチは MIT の海洋学教授です。ハーバード大学とロンドン工学ユニバーシティカレッジの海洋学の客員教授であり、ケンブリッジ大学の数学と物理学の上級研究員です。海洋学の4冊の有名な教科書の著書です。

R (Professor Carl Wunsch): 海は大きな貯蔵庫なのです。大気から CO₂ を吸収したり、大気への再放出したりします。海面は熱せられると CO₂ を放出する傾向があり、同様に、海面は冷たくなると CO₂ を吸収しやすくなります。

つまり、海が暖かくなるにつれて CO2 の放出量は増加し、冷たくなるにつれて吸収量が増加します。海に出入りする CO2 量と気温の変化にはなぜ数百年ものタイムラグがあるのでしょうか。それは海がとても大きく深いからです。海は暖かくなったり冷たくなったりするのに数百年かかります。このタイムラグは ” 気温の変化の記憶 ” と呼ばれています。

R (Professor Carl Wunsch): 海は過去一万年程度の記憶を持っています。例えば、誰かがこう言ったとします。” 今、大西洋で観測されている変化は気候システムの変化が原因に違いない ” しかし、数十年とか数百年前に海のどこか遠くで起きたことの影響が今になって北大西洋に現れただけかもしれません。

現在の温暖化は、人々が電灯や車を手に入れるはるか以前に始まりました。過去 150 年間で気温は約 0.5 度上昇しました。しかしほとんどの上昇は 1940 年以前に起こりました。それ以降気温は 40 年間下がり続け、そして 30 年間上昇しました。長い気候の歴史の中で、CO2 濃度が気温を決める要因だったという証拠は全くありません。しかし、CO2 でないなら何が気候を変化させているのでしょうか？

< 3 > 地球温暖化詐欺 27 : 46

CO2 が気候変化を促している通説は、入手した多くの科学データと一致しません。気象観測気球や衛星からのデータや氷床コア調査や気温の歴史記録といったデータです。CO2 で気候が変化しないのなら何が原因なのでしょう？

28 : 24

I (Professor Philip Stott): 私達人間が車や電灯を使うことで気候を操作しているなんて考えるのは奇妙ではありませんか？空を見てください。あの巨大な太陽を。65 億人の人類でさえ太陽と比べれば小さなものです。

1980 年代後半、太陽物理学者のピアース・コービンが全く新しい方法で天気を予報しようと決めました。英国気象庁の豊富な資料をよそにコービンは新しい技法で常に正確な予報を出しました。スーパーウェザーマンとして全国で絶賛されました。成功の秘訣は太陽でした。

S (Dr Piers Corbyn) 太陽による長期予報の技術の発展は太陽黒点の研究と黒点の予測をしたかったからです。そして太陽を天気予報に利用した方が面白いと気づいたのです。

太陽黒点とは強力な磁場であり、太陽の活動が活発になると出現します。しかし何百年もの間、黒点が正しく理解される以前から、世界中の天文学者たちは太陽黒点の数を数えていました。黒点が増えると暖かい天気が訪れると信じていました。1983 年、英国の天文学者エドワード・モーニングには、視認できる太陽黒点がほとんどないことに気づきました。この太陽が不活発な時期はモーニング・ミニマムと言われています。しかし、天気の指標として太陽黒点は信頼できるのでしょうか？

S (Dr Piers Corbyn): 私はギャンブルでテストすることにしました。ウィリアム・ヒル (賭博屋) で気象庁の出す普通の予報を相手にです。毎月毎月毎月私は勝って賞金を得ました。去年の冬、気象庁は

特に寒い冬になると予報しました。私達の予想は、ほぼ平年通りで、厳密にはクリスマス後と1月は寒くというものでした。そして私達が正しく気象庁は間違っていました。

1991年、デンマークの気象学会の研究者が2世紀の太陽黒点の記録を編集し、気象記録との比較を行いました。太陽の活動と地球の気温変化の間に密接な相関関係を発見しました。太陽活動は1949年まで急激に活発化し、1970年代までの40年間、沈静化し、その後、また活発化しました。

T (Professor Eigil Freis Christensen): 太陽活動や太陽黒点周期と気温の相関関係を見せたら、“ただの偶然の一致かもね”と言われました。どうすれば偶然の一致でないと証明できるのでしょうか？より長く、異なる時系列が必要なのは明白でした。そこで時間をさかのぼることにしました。

フリース・クリステン教授と同僚は、400年の天文学の記録を調査し、太陽黒点の活動と気温変化を比較しました。太陽活動の変化が地球の気温変化と密接に関連していることを再発見しました。気候の変化を促しているのはCO₂などではなく太陽のようです。ある意味、驚くことではありません。太陽は熱を送り込み、直接的に私達に影響を与えています。しかし、太陽は雲を通して間接的に影響を与えることもわかっています。

雲には強力な冷却効果があります。どのように雲は形成されるのでしょうか。20世紀初頭、素粒子が常に地球に降り注いでいる事がわかりました。この素粒子は宇宙線とよばれており、太陽系のはるか遠くで起こった超新星爆発によって発生すると考えられています。飛来した素粒子と海から上昇してきた水蒸気がぶつかり、水滴となり、雲を形成します。しかし、太陽が活発で太陽風が強いと飛来する素粒子が減少し、雲もすくなくなります。

宇宙線の影響力の強さは最近明らかになりました。宇宙物理学者のネア・シュフィール教授は雲を作り出す宇宙線の記録と地質学者のヤン・バイツアー教授が作成した6億年の気温記録を比較しました。宇宙線が増加すると気温が低下し、宇宙線が減少すると気温が上昇することがわかりました。雲と気候は密接に関係していたのです。グラフを逆にすると、その密接さがわかります。

B: 私達はグラフを比較して一方に他方を乗せただけです。驚きでした。ヤン・バイツアーが私の方を見て、強烈なデータを手に入れたなと言いました。

D (Professor Ian Clark): まったく違う記録がこんなにきれいに一致したのを見たことはありませんでした。長い期間に渡って本当に何が起こっていたのかが分ります。

気候は雲によってコントロールされています。雲は宇宙線によってコントロールされています。宇宙線は太陽によってコントロールされています。すべては太陽に行き着いたのです。

34:08

C (Nigel Calder): もしエックス線が目に見えたら親しみのある黄色い玉は暴れ虎のように見えるでしょう。太陽はとても凶暴な野獣です。大爆発を起こしガスを吹き出し、無限の太陽熱が永遠に地球を駆け抜けます。ある意味では私達は太陽の大気の中にいるのです。磁場の強さは20世紀の2倍以上あります。

2005年、ハーバード大学の宇宙物理学者は次のグラフをアメリカ地球物理学連合の公式雑誌に載せ出版しました。青いラインは過去100年間の北極の気温の変化です。そして同じ期間のCO₂の上昇値です。(黄色のライン)明らかに両者に関連はありません。気温の変化をもう一度見てみましょう。この赤いラインは過去の太陽活動の変化です。NASAと米国国立海洋気候局によって独自に記録されたものです。

D (Professor Ian Clark): 過去百年または数百年の太陽活動は過去百年または数百年の太陽活動は海氷と北極の気温と10年単位で見事な相関関係があります。

ハーバードの宇宙物理学者と他の多くの科学者は必然的に次の結論に達しました。

S (Dr Piers Corbyn): 太陽が気候変化の原因であり、CO₂は無関係だということです。

それが事実なら、なぜ毎日毎日人為的地球温暖化のニュースが大量に流れているのでしょうか？なぜ多くのメディア関係者は明白な事実のように扱っているのでしょうか？地球温暖化説のパワーを理解するためにそれがどのように生まれたのかをお話します。

BBC "ウェザー・マシン" 36:40

"気象衛星が農作物を失って悲しむ姿を写し出しています..." 気候変化について絶望に満ちた予測をするのは新しいことではありません。1974年にBBCは、災害が迫り来ると警告しました。それは妙に聞き覚えがあるかもしれません。何度も何度も私達は気候災害をニュースで見してきました。アメリカ中西部は1930年以来最悪の干ばつに襲われました。そして竜巻が猛威を振っています。何が災害の原因になるのでしょうか？ニュー・サイエンティスト紙の元編集長ナイジェル・コールダーはこの番組の裏方でした。

C (Nigel Calder): 私達は"ウェザー・マシーン"で当時主流だった意見を報道しました。地球寒冷化と新氷河期の脅威です。

"自然の氷は私達を××し..." 40年間気温が下がり続けると世界は寒冷化し、破滅的な結末を迎えると専門家は警告しました。"大凍結は常に脅威でした。新氷河期は私達の土地を侵食し、北部の都市を覆い尽くすのでしょうか？"しかし凶兆と憂慮の中で一つの希望の声がありました。スウェーデンの科学者バート・ポリンが人間が排出するCO₂が世界の温暖化に役立つかもしれないという仮説を披露しました。

U: 豊富な石油と膨大な石炭があります。そして消費量は増加し続けており、それが続けば、約50年以内に気候は今より数 上がるかもしれません。私達にはまったくわかりません。

C (Nigel Calder): スウェーデンのバート・ポリンを国際テレビ放送に出演させ、CO₂の危険性を紹介したのは私達が初めてでした。彼の空想に迎合し過ぎていると専門家に酷く批判されたのを覚えています。

1970年代、寒冷化への恐怖は最高潮でした。バート・ポリンの奇妙な人為的地球温暖化説は馬鹿

12/22

げているように見えました。2つの出来事がそれを変えました。1つ目は気温が上がり始めたこと。2つ目は炭鉱ストライキが発生したことです。

マーガレット・サッチャーにとってエネルギーは政治問題でした。70年代初頭のオイルショックで世界は不景気へ突入しました。炭坑夫はデッド・ヒース率いる保守政権を崩壊させました。サッチャーは同じことが起きないように炭坑夫の影響力を破壊しようと決心しました。

サッチャー ”この国で私達が目にしているのは組織化された革命的少数派の出現です。労使紛争に付け込もうとしていますが彼らの真の目的は法と秩序の破壊であり民主的議会政治の破壊です ”

C (Nigel Calder): こういった問題の政治化はマーガレット・サッチャーから始まりました。

F (Lord Lawson of Blaby) 気候変動とか地球温暖化が話題になったとき、彼女は、これは良いと思ったのです。CO₂を排出しないから論拠になる。原子力に向かうべき理由になると、これがおおよそ彼女が実際に言っていたことです。それ以降、事実はねじ曲がって行きました。

C (Nigel Calder): サッチャーは英国王立協会に行って、科学者たちに言いました。 ” お金は用意してある。これを証明して欲しい ” もちろん、科学者たちはやりました。

I (Professor Philip Stott): 政治家が名前を出して何かを支援したりするとお金が流れ込むには当然です。そのようにして調査・開発組織が泡のように立ち上がり二酸化炭素と気温の関係に重点を置いた気候調査が行われることになりました。40:24

サッチャーの要請で英国気象庁は気候モデル部門を設立しました。それが新しく国際委員会となる気候変動に関する政府間パネル IPCC の基礎となりました。

C (Nigel Calder): 彼らが最初に発表したレポートは地球温暖化の結果、気候災害が起こるという予測でした。私は記者発表を見に行ったのですが2つのことに驚きました。1つ目は、メッセージは単純かつ雄弁で発表は活気に満ちていました。2つ目は、それまでの気象科学を完全に無視していたことでした。たった数ヶ月前の王立協会の会議で太陽の役割が主題だったにもかかわらずです。41:17

環境問題として人為的 CO₂ に注目したのはサッチャーだけではありませんでした

C (Nigel Calder): 環境保護思想にとっても都合の良いものでした。私は中世環境主義と呼んでいます。 ” 中世の頃の暮らしに戻ろうと忌む車や機械をなくそう ” とか、彼らは大変気に入りました。CO₂ とは工業化の象徴だったからです。

Q (Professor Federick Singer): 明らかに CO₂ は工業ガスであり、経済成長、車による輸送などいわゆる文明と関係しています。環境運動には単に経済成長に反対している勢力があるのです。彼らはそう

いったものを悪だと考えているのです。

I (Professor Philip Stott): 既にあった神話の正当化に使われたのです。反自動車、反生長、反開発、そして何よりも大悪魔アメリカ、反米です。

パトリック・ムーアは彼の世代の環境運動の第一人者です。グリーピースの共同設立者です。

K (Patrick Moore): 焦点が気候へ移ったのは2つの理由からです。1つ目は、80年代中頃までには、大多数の人々は私達環境活動家の主張のうち合理的なものには全て賛同していました。大多数の人が賛同しているのにそれと対立的になるのはとても困難です。そして反体制を続ける唯一の道は今まで以上に過激な立場を取ることでした。私がグリーンピースを去ったとき世界中で塩素を禁止するキャンペーンをするか決めいている最中でした。私はこんな風に言いました。”君たち、これは元素周期表に載ってる元素の一つだよ ” ”一元素全てを禁止しようとするのが私達の役割なんだろうか ” 43 : 24 環境過激派が現れたもう一つの理由は世界中かで共産主義が失敗したからです。ベルリンの壁が崩壊し、多くの平和運動家や政治活動家は環境保護活動へ移行しました。新マルクス主義を持ち込み環境保護用語の使い方を身につけました。そしてエコロジーや科学ではなく反資本主義や反グローバルゼーションに関係したアジェンダを巧みに覆い隠しました。43 : 47

F (Lord Lawson of Blaby) 左派は社会主義とマルクス主義の失敗により、少し方向性を失っていました。したがって、彼らは昔と同じように反資本主義者のままですが、反資本主義を隠す新しい口実が必要でした。

C (Nigel Calder): それは驚くべき一種の同盟関係でした。右派のマーガレット・サッチャーから、極左の反資本主義・環境活動家までです。それがおかしな思想を背景に子の様な勢いを創りだしました。44 ; 31

1990年代初頭、人為的地球温暖化は少しも奇抜な説ではなくなりました。それは本格的な政治キャンペーンでした。メディアの注目を集めた結果、政府助成金が増えました。

J (Professor Richard Lindzen): ブッシュ・シニア以前の気候や気候関連科学への助成額は年間170億円程度だったと思います。この分野の規模としては妥当です。それが年間2000億円に跳ね上がりました。10倍以上になりました。ええ、それで大きく変わりました。つまり...仕事がたくさん増え、本来なら関係のない新しい人々が流入しました。彼らが興味を持っている分野は地球温暖化だけでした。45 : 28

C (Nigel Calder): 例えば、私がサセックスのリスを研究したいと思ったら、1990年以降であれば研究費申請書にこう書きます。”地球温暖化の影響に関するリスの採集行動について調査したい”これなら資金を得られるでしょう。もし地球温暖化に言及するのを忘れたら資金は得られないかもしれません。46 : 00

Q (Professor Federick Singer): この小さな科学分野に巨額の資金が投入されたことで科学全体の取り組みが歪められたのは確かだと思います。

J (Professor Richard Lindzen): みんな資金を得るために競争しています。もしあなたの研究分野が話題の中心なら資金の必要性を説明するのは簡単でしょう。

< 4 > 46 : 26 地球温暖化詐欺

1990年代までに何千億円という英米などの政府助成金が地球温暖化関係の研究に投入されました。助成金の大半は未来の気候を予測するためのコンピューターモデルの構築に費やされました。しかし、このモデルはどれくらい正確なのでしょう？ロイ・スペンサー博士はNASAのマーシャル宇宙飛行センターの気候研究の上級科学者です。卓越した科学的功績によりNASAとアメリカ気象学会に表彰されました。47 : 10

L (Dr Roy Spencer): 気候モデルの精度は使われる仮定と同程度しかありません。そして何百もの仮定があります。仮定が一つ間違っただけで予報は大きく外れます。

気候予報は新しいことではありませんが、過去の科学者たちは予想能力についてもっと謙虚でした。コンピューターで気候モデルを作った人々は気候変化を予測する試みに対し懐疑的です。47 : 33

V: 未来の気候について悪い予測は全く予測がないより遥かに有害であることがあります。残念ながら、ウェザー・マシーンは複雑で十分理解されていないため、信頼に足る予測はできません。47 : 53

全ての気候モデルは太陽や雲ではなく、人為的CO₂が気候変動の主原因だと仮定しています。

E (Professor Tim Ball); 私がよくする例え話なんですが、車の調子が悪いときにエンジンを無視して(太陽のことです)、トランスミッションも無視して(水蒸気のことです)右後ろのタイヤのナットを調べるようなものです。(人類の排出するCO₂のことです)それくらいひどい科学なんです。

D (Professor Ian Clark): 気候システムを理解するということは、宇宙線・太陽・CO₂・水蒸気・雲などの全ての要素を理解するということです。つまり、それら全てが揃わなければ気候モデルには何の価値もありません。48 : 37

R (Professor Carl Wunsch): 気候の予測の幅は大きく異なります。この差異は、各モデルが根拠としている仮定のわずかな違いから生じます。気候モデルはとても複雑なので、時々面白くなるように調整することもあります。

D (Professor Ian Clark):

モデル製作者と共に働き私もモデリングをやりますが、数理モデルと合わせて変数を調整すればどんなモデルでも作れます。数値を調整すれば、より暖かくすることも冷たくすることもできます。

あらゆる気候モデルは人為的 CO₂ を温暖化の原因と仮定しているので、より印象的な予測を出す方法は明らかです。大気中へ放出される人為的 CO₂ の仮定量を増やすことです。

M (Professor Patrick Michaels) : 私達は入力する二酸化炭素の増加量を年間 1 % としました。過去 10 年間の増加量は年間 0 . 4 9 % でした。その前の 10 年間は年間 0 . 4 2 % でした。さらに前の 10 年間は年間 0 . 4 3 % でした。つまり、気候モデルでは実際の 2 倍の温室効果ガスによる温暖化拡散が起きます。現実よりも温暖化させた予測で人々を動揺させるべきではありません。

気候モデルでは 50 年とか 100 年後の気温予測します。気候の長期予測に固有の特徴とは予測が間違っていると証明されるのは人々がすっかり忘れた後だということです。その結果、気候モデル製作者は面白さを追求し、正確さにきを遣わなくなるという危険性があるとカール・ワンチ教授は指摘します。

R (Professor Carl Wunsch) : 科学コミュニティの中でさえ問題視されています。複雑なモデルを使って何とかしたとします。例えば、海に大量の氷を溶かして、何もおこらなかつたらそれは出版されないでしょう。しかし、同じモデル使って何かドラマティックなことが海流の循環に起こるように調整したとします。例えば、熱輸送を無くしたりします。それは出版されるでしょう。”これは面白い”と人々は言うでしょう。メディアにも取り上げられるでしょう。つまり偏向があるんです。メディアにも科学コミュニティにもドラマティックな調査結果を非常に好む傾向があります。地球が氷で覆われるというのはずっと面白いストーリーです。例えば、地球は常に変動していて、マスフラックスは 10 % 増加したり、20 % 減少したりするが、いつかは元に戻るというような話よりもです。あなたなら、どちらの記事を書きますか？つまりそういうことです。51 : 20

素人目には、コンピューターモデルは印象的で乱暴な推測でも厳密な科学に見えたりします。乱暴な推測でも厳密な科学に見えたりします。そしてメディアに壮大なストーリーのネタを大量に供給します。

C (Nigel Calder) : ベテランジャーナリストとして私が驚いたのは、ジャーナリズムの最も初歩的な原則が無視されていることです。人為的地球温暖化説により、ジャーナリズムに新たな部門が生まれました。全く新しい世代の環境ジャーナリストが生まれたのです。もし地球温暖化説がゴミと化したら環境ジャーナリストの仕事も同様でしょう。それくらい未熟なのです。そして報道は益々ヒステリックになっています。まだ頑迷なニュース編集者がいてこう言いふらしています。”5年前にあなたが言ったことだが、ますます悪化してる。次の火曜日までに海拔が 10 フィート上がりそうだ”彼らはどんどんヒステリックになる必要があるのです。

暴風雨やハリケーンが来る度に地球温暖化のせいにするのがメディアでは普通になっています。しかし、科学的根拠はあるのでしょうか？52 : 49

J(Professor Richard Lindzen): ただのプロパガンダです。気象学のどの教科書にも書いてありますが、気象攪乱の主原因は熱帯と極地の気温差です。世界が温暖化すると気温差は縮小すると言われていました。つまり、荒天は減るでしょう。変動性も減少するでしょう。しかし、なぜかこのことは破滅的だとは見なされていません。つまり、(報道とは) 正反対なんです。

穏やかな気温の上昇でも北極の氷冠が破滅的な勢いで溶け出すと良く報道されています。地球の気候の歴史を振り返って確かめて見ましょう。

H(Professor John Christy): 数千年間のグリーンランドの気温記録を入手しました。ちょうど千年前、グリーンランドは現在よりずっと温暖でした。しかし、ドラマテックに氷が溶けるような出来事はありません。

I (Professor Philip Stott): 永久凍土について話してみましよう。例えばロシアの森の下には巨大な永久凍土の氷層があります。7~8千年前は現在よりもずっと多く溶けていました。つまり、歴史的に繰り返されてきたことで、それで世界が終わったりしなかったでしょう? 54:08

シュンイチ・アカソフはアラスカの国際北極研究所 (IARC) の所長です。IARC は世界をリードする北極研究所です。アカソフ教授は、氷冠は時間経過と共に、常に自然に拡大したり縮小していると主張しています。

O (Professor Syun-Ichi Akasofu): 大きな氷の塊が南極大陸から崩落するのをよく報道しています。こういったことはずっと起きて来たはずですが、今は衛星があるので、見つけることができるのです。それでニュースになるわけです。

1990年代、NASAの気象衛星により、極地の海氷が自然に大きく拡大したり、縮小したりするのが分りました。

O (Professor Syun-Ichi Akasofu): よく地球温暖化を扱うテレビ番組で、氷河の端から巨大な氷の塊が落ちるのを放送していますが、人々は氷が常に動いていることを忘れていきます。

ニュースで北極の端から氷が崩壊する映像を放送しますが、イギリスの秋の落葉のように北極ではこれが普通の出来事だとは報道しません。

O (Professor Syun-Ichi Akasofu): ” 冰山から氷が落ちるのをみましたか? ” と聞かれたら、 ” はい、春の到来です。毎年おきていますよ ” と答えています。 ” 温暖化による災害について言いたいことはありますか? ” と記者団によく聞かれますが、 ” ありません ” と答えています。

テレビ番組では、大きな高波がイギリスを襲うような恐ろしい予測を取り上げていますが、海水位の変化の原因は何でしょうか? どれくらいの速さで起こるのでしょうか?

I (Professor Philip Stott): 一般的に世界の海水位の変化は基本的に2つの要素で決定されます。“ローカル・ファクター”と呼ばれていますが、海と地面の関係です。ちなみに大抵の場合、海ではなく土地の隆起又は沈下の影響です。“ユースタティック変動”と言われる海水位変化があります。海の熱膨張が原因で世界規模の変化が起こりますが、氷融解とは何の関係もありません。そして、それは非常に遅く長い時間が必要です。

R (Professor Carl Wunsch): “去年海がこうなったのは去年大気中で何かが変わったからだ”などという人がいますが、必ずしも真実ではありませんし、実際そうではないでしょう。海面で起きた変化に深海が反応するには数百年から数千年かかるからです。

気温がゆるやかに上昇したとしても、昆虫が媒介するマラリアのような熱帯病は北へ拡大すると言われています。これは本当でしょうか？パリのバスター研究所のポール・ライター教授はマラリアや他の昆虫媒介の第一人者です。世界保健機関の専門家諮問委員会の一員であり、アメリカ熱帯医学会の衛生昆虫学委員会の議長でした。気候変動に関するアメリカ全国査定の健康部門の主筆者でした。蚊は非常に低い気温でも繁殖するとライター教授は指摘しています。

A (Professor Paul Reiter): 厳密には蚊は熱帯性ではありません。多くの人々は温暖な地域に蚊がいることは知っています。実際には北極にも非常にたくさんの蚊がいます。マラリアが最も蔓延したのは1920年代のソビエトです。年間約3千万件発生し約60万人死亡しました。北極圏にまで広がるひとぞ大惨事でした。アークンジェル市での発生は3万件死者は約1万人でした。つまり熱帯病ではありません。しかし、地球温暖化クラブの人々はマラリアが北上するというアイデアを創作しました。58:24

恐怖を煽るような記事は、ずさんで変更したジャーナリズムだけの責任ではありません。ライター教授によれば、ヒステリックな警告は国連のIPCCの報告に促されたものだからです。マラリアの拡大についてのIPCCの警告の内容とは、“マラリアを媒介する種類の蚊は通常、冬の平均気温が16~18以下になる場所では生存できない”ライター教授によればこれは明らかに間違いです。

A (Professor Paul Reiter): 第2、第3の調査報告書を読んだとき驚きました。間違った情報がたくさんあったからです。何の資料もなければ実質的に科学論文への言及もありません。つまり、本当の科学論文、その分野の専門家の論文がないのです。

ウォールストリート・ジャーナルに掲載された手紙の中で、アメリカ国立科学アカデミーの元校長フレドリック・サイツ教授は科学者のコメントがIPCCの職員により、検閲されていることを明らかにしました。“この報告書は寄稿した科学者達に承認されたバージョンのものではありません”科学の章で少なくとも15項目削除されていました。以下のような部分です。“上記に引用した如何なる研究も温暖化効果ガスの増加が機構変化の原因だという明確な証拠を示していない”“今日までの研究で気候変化の全てもしくは一部分が人間が作り出した要因が原因であると明示しているものはない”サイツ教授はこう結論づけました。“IPCCレポートで起きたような評価プロセスの酷い腐敗は見たことがありません”これに対してIPCCは削除したことを否定しませんでした。そして、評価プロセスにごまかしや偏

向はなかった。地球温暖化の原因の不確実性は盛り込まれている。文章の変更はしたが、政府や科学者や NGO に要請されたからだと IPCC は回答しました。

A (Professor Paul Reiter): 私が IPCC を辞めたときそれで終わりだと思いました。しかし最終草案をみたら私の名前がまだ載っていました。私は削除するようお願いしました。レポートに貢献したので名前を残してあると言われました。私の意見は全く聞き入れられなかったのだから貢献などしていないと言いました。激しい言い争いの末、最後に訴訟すると脅かしたら、名前は削除されました。よくあることなんだなと思いました。議論に同意せずに辞めた専門家が沢山いることを知っています。そういった人々も著者リストに載ったまま、2590人の世界的科学者の一部となっているのです。1:01:04

人為的地球温暖化に関係する研究は今や最も資金援助されている科学分野の一つです。米国政府だけで年間4000億円以上費やしています。NASAの気候学者ロイ・スペンサーによれば人為的地球温暖化説に意義を唱えた科学者は多くの不利益を被ると言います。

L (Dr Roy Spencer): 研究費を得るのが難しくなっています。私達が公式に表明した見解が原因です。公式に見解を表明したいと思っている人はほとんどいません。研究費を得るのに邪魔になるからです。

I (Professor Philip Stott): 人為的地球温暖化説に賛同しない科学者は民間企業からお金を貰って嘘を付いているという偏見が一般的にあります。“ 多国籍企業からお金をもらってるだろ ” といつも言われます。残念ながら、ほとんどの科学者と同じように多国籍企業から1ペニーも貰っていません

E (Professor Tim Ball); 石油会社やガス会社から金を貰ってくるといつも非難されますが。一銭も受け取っていません。それをジョークにしてるんですがお金を貰えたら彼らの商品を買う余裕もできるのに。

C (Nigel Calder): 石油会社からお金を貰っていると誰かに言われたら、こう言い返しています。私の銀行の担当者はそう望んでいるよ。

気候学にはほとんど民間投資はありません。しかし、企業の援助金が絡んだ調査プロジェクトにかかわるとそれがどれだけ少額でも科学者の名声を傷つけます。温室効果ガス満載の現代テクノロジーです。パトリック・マイケル (M (Professor Patrick Michaels はヴァージニア大学の環境科学の教授です。アメリカ気象学会の応用気候学委員会の議長です。アメリカ州気候科学協会の議長でもあります。3冊の気象学の本の著者であり、国連 IPCC の執筆者であり査読者です。石炭産業から部分的に資金援助された研究を行ったことでいつの間にか環境活動家に攻撃されるようになりました。

環境活動家：“ 英国に本拠を置く企業は地球上で最悪の気候犯罪者どもだ。現在シェル石油は英国ここロンドンを本拠としている。私達にはシェルを国有化して取り戻す権利と義務がある。解体して、粉碎して、経営者をリハビリ施設に送り込め！”

国際公共政策により二酸化炭素の工業排出を押さえつけたため、発展途上国は、開発しないように強い

圧力を受けています。

< 5 > 地球温暖化詐欺 1 : 03 : 28

環境活動家：“私は気候の専門家でも科学者でもありません。私が伝えたいことはとても重要な“ターン・オフ”です。それだけです。消しましょう！いらぬもの使っていないもの全てを世の中を変えるのは思ったより簡単です”

世の中から代表施設が国連主催の地球温暖化会議に参加するためにナイロビへ飛行機でやって来ます。公務員やNGO活動家カーボンオフセットの資金管理者や環境ジャーナリストなどが集まり公務員やNGO活動家カーボンオフセットの資金管理者や環境ジャーナリストが人為的気候変動のあらゆる面を議論します。

アフリカで太陽電池パネルを普及させる方法から地球温暖化と性差別の関係についてまで様々です。会議は10日間続き、代表使節の人数は6000人を超えます。

H (Professor John Christy): 何千億円も気候科学に投資されているということはそのお金に依存している人々が沢山いるということです。彼らはそれを存続させたいでしょう。官僚組織ではよくあることです。1 : 04 : 47

C (Nigel Calder): 私の住んでいる地方自治体には地球温暖化担当公務員がいました。人々が何らかの形で、この流行現象に加わるように勧誘されてきたようです

F (Lord Lawson of Blaby): 堂々と“おい、ちょっと待ってくれ、落ち着いて理性的に注意深く確かめよう。どれほどメリットがあるかどれほど合理的なのか考えよう”などと発言するような人々は排斥されるでしょう。

科学者は相対的な言葉使いや人目に付かない研究生活に慣れていますが、もし人為的地球温暖化説に異議を唱えたら、あっという間に公の場で攻撃されることでしょう。活動家グループや大学内からさえも中傷されます。

E (Professor Tim Ball); イギリスの古いことわざですが“ココナッツ落としの前に立てばボールはあなたに飛んでくる”(ボールでココナッツを落とすゲームがある)そういうことが起こっているんだと理解しました。とても厄介で陰湿な個人攻撃になっており、脅迫などあらゆることが起きています。だから私は身の安全のため(温暖化批判は)やりません。

K (Patrick Moore): 最近では気候変動説に懐疑的であると、ホロコースト否定論者のように扱われます。環境保護運動とは実は政治活動家の運動であり、世界規模で大きな影響を持つようになりました。政治家は皆、そのことに気がついていました。左派だろうと中道だろうと右派だろうと環境に忠誠を誓わなければなりません。

先月、地球温暖化キャンペーンが大勝利を収めました。反抗勢力の拠点だったアメリカ政府が降伏したのです。今やジョージ・ブッシュは仲間です。西洋諸国は先進国と発展途上国で工業生産を抑制するために国際協定が必要だと考えています。しかし、コストはどれくらいでしょうか？ポール・ドリーズンは元環境活動家です。

W (Paul Driessen) : 地球温暖化に関する最大の懸念は、温暖化を抑制する政策を推し進めることで世界の最貧困層の人々に破滅的な影響をもたらすと思われることです。1 : 07 : 00

活動家は、大事を取れば安全だと言います。たとえ人為的地球温暖化説が間違っていたとしても、万が一に備えて、二酸化炭素排出削減に厳しい態度を取るべきだと。これを予防原則と言います。予防原則とは非常に面白い野獣です。

W (Paul Driessen) : 基本的に特定のアジェンダやイデオロギーを奨励するために使われます。実に一方向にしか使われません。ある特定のテクノロジーを使うリスクについては言及しますが、例えば、化石燃料などですが、使わないことで生じるリスクには言及しません。そのテクノロジーの恩恵については決して言及しないのです。

アン・ムゲラは子供達のために食事の準備をしています。彼女のように電気がない第3世界に住んでいる人は20億人います。そのかわりに屋内で木や乾いた動物の糞を燃やします。室内煙は世界で最悪の汚染物質を産み出します。世界保健機構によれば、毎年4百万人の5歳以下の子供が屋内煙による呼吸器系の病気で死にます。何百万人も女性が肺の病気や癌で早死にしています。

N (James Shikwati) : もし現地の人々に“ 発展 ” とは何かと訪ねたら、こう答えるでしょう。“ 電気が使えるようになって次のレベルに移行するという事です ”

実際、電気がないことで連鎖的に多くの問題が発生します。まず電灯がありません。電灯がないのですから早く寝なければなりません。起きている理由もありませんし、暗闇の中ではお互い話すこともできません。冷蔵庫も近代的なパッケージもないので食料を保存できません。屋内での焚き火は煙が多く、暖房用としては木材の消費が多すぎます。お湯もありません。西洋人には電気がない生活がいかに厳しいか想像できないでしょう。このような場所に住む人々の平均寿命は非常に短いです。彼らのあらゆる部分で貧窮しています。1 : 09 : 08

数マイル離れたところにはりっぱな国連本部があり、地球温暖化会議が開催されています。民芸品などのお土産を売っている一方で代表使節たちは“ 持続かのような発電機 ” なるものをいかに普及させるか議論しています。アフリカには石炭も石油もあります。しかし環境保護グループはこういった安いエネルギーを使うことに反対するキャンペーンをしています。その代わりにアフリカなどの発展途上国は太陽や風力エネルギーを使うべきだと言っています。ナイロビから少し車で行った所に最初のソーラーパネルがありました。ケニアの公衆衛生局の職員に村の診療所を案内してもらいました。診療所にある電気機器は電灯と冷蔵庫だけでした。ワクチンと薬と血液サンプルが保存されていました。電気は2

つのソーラーパネルから供給されています。

職員：何がきちんと使えていますか？

医者：電灯です。

職員：電灯だけ？

医者：YES

職員：電灯と冷蔵庫を同時に使ったら何が起きますか？

医者：アラームが鳴ります。

職員：アラーム？

職員：見せてもらえますか？

ソーラーパネルでサミュエル・ムワンギ先生が使えるのは電灯か冷蔵庫のどっちかだけです。両方同時には使えません。同時に使うと、電源が落ちます。太陽・風力エネルギーは電力源としては頼りにならないことで有名です。そして従来の電力源より少なくとも3倍ほど高価です。

N (James Shikwati): 私が疑問に思っていることは何人のヨーロッパ人が、何人のアメリカ人がこういった電力を使っているのでしょうか？それは安価でしょうか？ヨーロッパ人にとって高価です。アメリカ人にとっても高価です。貧しいアフリカ人の話をしてるのです。まったく無意味です。裕福な国は代替エネルギーを使った贅沢な実験をする余裕があります。しかし私達はまだ生き抜くのがやっとの段階なんです。

元環境活動家のポール・ドリーゼンは世界で最も貧しい人々に最も高価で非効率な電力源だけを使えというのは地球温暖化キャンペーンの倫理的に最も矛盾している一面だと考えています。

W (Paul Driessen): 一つははっきり言いたいのですが第3世界に太陽と風力エネルギーだけを使えというのは電気を持つなと言っているのと同じです。

N (James Shikwati): 西洋の環境活動家は太陽パネルと風力エネルギーの利用に取組むべきだと言いますが私達の課題はどうやってアフリカを工業化するかなのです。どうやってソーラー・パネルで製鉄所に電力を供給するのでしょうか？どうやってソーラー・パネルで鉄道網に電力を供給するのでしょうか？小さなトランジスタ・ラジオの電源にはなるでしょうが。

K (Patrick Moore) 現代の環境保護運動で最も有害な面とは小作農の生活をロマンティックに空想したり工業社会を世界の破壊者だと考えていることです。

N (James Shikwati): 環境保護運動の議論からはっきり分かったことが一つあります。アフリカン・ドリームを葬るのに熱心な人がいることです。アフリカン・ドリームとは発展することなんです。

K (Patrick Moore) 環境保護活動は、発展途上国の開発を妨害する最強の勢力になりました。

N (James Shikwati) 資源に手を付けるなと言われてきました。石油に手を付けるな、石炭に手を付けるな、それでは自殺です。

K (Patrick Moore) : 環境活動家を反人間的と呼んでも差し支えないと思っています。たとえば、人間がクジラやフクロウより優れている思いたくなければ勝手にすればいい。しかし、人間をクズみたいなものと考えたり、何億人もの人が盲目になったり死んだりしても構わないなどと考えるのは決して良いことではありません。私は全く共感できません。

今や人為的地球温暖化説は確固として揺るぎないものになっています。反対の声は事実上沈黙させられ、無敵のようにみえます。どれだけ強力な反証であっても受け入れません。地球温暖化への警鐘は道理を超えてしまいました。

Q(Professor Federick Singer) :これが世界の終わりだと信じる人々はまだまだいるでしょう。例えば、イギリスのある主任科学者はこう言っています。世紀末までに人が住める場所は南極だけになっていて、人間は南極に移住したカップルのおかげで生き残れるかもしれない、と...。愉快でしょう。それほど寂しくなければ本当に愉快かもしれません。